

新除草・調節剤

カソロン粒剤 6.7

D B N 除 草 剤

北 興 化学工業株式会社
(取扱メーカー) クミアイ化学工業株式会社

対象；牧野草地

性状・作用特性；本剤は、2,6-ジクロロベンズニトリルを6.7%含む類白色の細粒である。非ホルモン、吸収移行型の土壌処理剤で、雑草の発生初期処理で非選択的に作用し、1年生のイネ科および広葉雑草を枯殺し、長期間抑制する効力を有する。また、生育した雑草に対する作用は広葉雑草に強く、特に防除困難なヤブガラシ、ギンギン、ヨモギ等の多年生(宿根性)広葉雑草にすぐれた効力を有する。

人畜毒性は普通物で、急性経口毒性 $LD_{50} = 6,810 \text{ mg/kg}$ (マウス), $LD_{50} = 3,160 \text{ mg/kg}$ (ラット) である。

使用方法；1年生雑草に対しては、本剤の所定量を散粒機または手まきにより、全面均一に散布する。多年生広葉雑草に対しては、雑草の株元または生長点に所要量を局部処理する。牧草地のギンギンに対しては、出芽展葉期に散布するのが効果的で、ことに古株に対しては薬量を多めに処理する。使用量は、全面散布の場合は10a当り5kg、局部処理の場合は1株当たり1~2gが適当である。

使用上の注意；全面処理の場合は、雑草が大きくなりすぎると効果が劣るので、雑草の発生初期に処理する。土壌が乾燥しすぎると、効果が落ちる場合があるので、雨上がりなどの土壌水分の多いときに使用するとよい。全面散布の

場合は、散布ムラを生じないように均一に散布する。

M & B 9 0 5 7 除 草 剤

(取扱メーカー) 塩野義製薬株式会社

対象；牧野草地

性状・作用特性；本剤は、メチル4-アミノベンゼンスルホンルカーバメイトを34%(40%W/V)含む水溶剤で、非ホルモン型の吸収移行型除草剤である。本剤は、雑草の発生前から生育期に土壌処理または茎葉処理することによって、1年生イネ科雑草および広葉雑草、多年生の広葉雑草にも極めて強い殺草力をもつことが認められている。特に、従来から牧野草地において防除が困難とされているワラビ、ギンギン類、スイバ類およびキク科の多年生強害草を選択的に枯殺する特性を有する。

本剤の動物に対する毒性は、哺乳類(急性経口毒性マウス $LD_{50} = 1,754.0 \text{ mg/kg}$)だけでなく、魚類(稚ゴイTLM48時間=1,000PPM以上)、鳥類、カイコ等の昆虫にも極めて低いことが認められている。

使用方法；ギンギン類およびキク科雑草対象の場合には、10a当り製品500~600ccを秋から春(9~5月)のギンギン類展葉時に1回または2回全面散する。局部処理および群生地処理の場合には、早春から秋(1~11月)にかけて、随時10a当り製品1,250cc以上を散布して防除することもできる。ワラビを対象とする場合には、維持管理や更新などの目的